年間授業計画

八王子北 高等学校 令和６年度　　教科　情報　　科目 自由選択　情報演習

教　科：　情報　　科　目：　自由選択　情報演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 最新　情報Ⅰ 実教出版　　）

教科　情報　　の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　情報社会と私たち １　情報社会と情報 【知識及び技能】 情報社会の現状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	・指導事項 情報社会の現状について理解する。 ・教材 30時間でマスターOffice2019 ・一人１台端末の活用　等 タイピング練習	【知識・技能】 情報化が進展する社会の特質について説明することができる。 【思考・判断・表現】 情報の特性を活用した事例と，情報の特性によって生じる事例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。	○	○	○	8
	２　情報社会の法規と権利 【知識及び技能】 著作物を適切に利用する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人情報とプライバシーについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 知的財産権について理解する。 ・教材 情報モラル＆セキュリティ ・一人１台端末の活用　等 動画を視聴する。	【知識・技能】 著作物を利用する方法を説明することができる。 【思考・判断・表現】 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネット依存等の影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善方法しようとしている。	○	○	○	8
	第２章　メディアと情報デザイン １　メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアの種類と特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 適切かつ効果的にメディアを選択することができる。	・指導事項 メディアの特性について理解し，目的に応じたメディアを選択する。 ・教材 30時間でマスターOffice2019 ・一人１台端末の活用　等 情報を活用し，主体的に情報を発信する。	【知識・技能】 メディアの機能について説明することができる。 【思考・判断・表現】 伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアから収集する情報を批判的に思考し，主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。	○	○	○	9
	２　情報デザイン 【知識及び技能】 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アクセシビリティを高めるためにインタフェースを改善することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に沿って，配色を考えて表現することができる。	・指導事項 情報を正確に，わかりやすく伝える方法について理解する。 ・教材 30時間でマスターOffice2019 ・一人１台端末の活用　等 情報をわかりやすく伝達するため文字や図の表現を工夫する。	【知識・技能】 情報バリアフリー，ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 【思考・判断・表現】 情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて，身近な例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的なコミュニケーションや問題解決のために，主体的に情報を整理したり，わかりやすく伝達したりしている。	○	○	○	9
2学期	第３章　システムとデジタル化 【知識及び技能】 コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算の仕組みについて，順序立てて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し，自分で調べようとしている。	・指導事項 表計算ソフトウェアについて理解する。 ・教材 30時間でマスターExcel2019 ・一人１台端末の活用　等 表計算ソフトウェアの利用 ・表計算ソフトによる作表とグラフの作成 ・関数を利用してデータの統計や条件のある計算を習得する。	【知識・技能】 基本的な関数、グラフ化などについて理解する。 【思考・判断・表現】 文書の構成やレイアウト等の体裁を考えながら，読みやすい文書を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文書の構成やレイアウトについて自ら進んで工夫している。	○	○	○	10
	第４章　ネットワークとセキュリティ 【知識及び技能】 ネットワークの構成と仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークのセキュリティについて，説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 タブレットなどの身近な情報機器について活用の方法を考えようとしている。	・指導事項 表計算ソフトウェアについて理解する。 ・教材 30時間でマスターOffice2019 ・一人１台端末の活用　等 表計算ソフトウェアの利用 ・文字、図形、グラフなどを効果的に使用して報告書を作成する	【知識・技能】 報告書などの資料をコンピュータで作成することができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータの計算の仕組みについて，順序立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 表やグラフのレイアウトについて自ら進んで工夫している。	○	○	○	10
3学期	第５章　問題解決とその方法 【知識及び技能】 問題解決の手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題発見のための現状分析の方法を考え，適切に選択できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に問題解決に取り組み貢献しようとしている。	・指導事項 プレゼンテーションソフトウェアについて理解する。 ・教材 30時間でマスターOffice2019 ・一人１台端末の活用　等 プレゼンテーションソフトウェアの利用	【知識・技能】 プレゼンテーションのためのスライド等の資料をコンピュータで作成することができる。 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し，適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に情報を整理し，わかりやすく伝達してい	○	○	○	8
	第６章　アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に，主体的に取り組んでいる。	・指導事項 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 ・教材 30時間でマスターExce2019 ・一人１台端末の活用　等 プログラミング言語の利用 ・プログラミングソフトを利用した問題解決方法について理解する。	【知識・技能】 アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。 【思考・判断・表現】 関数を活用したプログラムを設計し，わかりやすく効率的なプログラムを作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決のためのアルゴリズムを考えながらプログラムを作成することができる。	○	○	○	8 合計 70